



発行者
諫早市立真城中学校
校長 山内 昇

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造性に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

○ 星に願いを！3年生の取組

7月7日は「七夕」です。夜空にかかる天の川を挟み、2つの星が1年に一度だけで会うというロマンティックな日です。バレンタインやクリスマス、最近はハロウィンなど、西洋の行事が目立つ中、七夕は伝統的な日として根付いていると感じます。3年生では、下の写真のように七夕の飾りつけを作成し、一人一人が短冊に願いを書いていたいました。



短冊にどんな「願い」が書いてあるか見てみると、やはり受験生！「第一志望校合格」のように、受験関係の願いが多かったように感じました。それだけ、3年生にとって、自分自身の「進路」は重要なことだと感じました。願いと同時に、夏休みに実力をアップすることで、短冊に書いた願いが「実現」することにつながるはずです！



七夕の飾りは、2階多目的室前の廊下に掲示していますので、来週からの「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の際にご覧いただければと思います。



の星があると思うと、ロマンがあります！！

「天の川」は、私たちの地球から、銀河の中心を見たときに、その星の集まりが「大河」のように見えているそうです。夜空に見える天の川の先には、数え切れないほどの

○ 「SNS」についての道徳を実施しました！

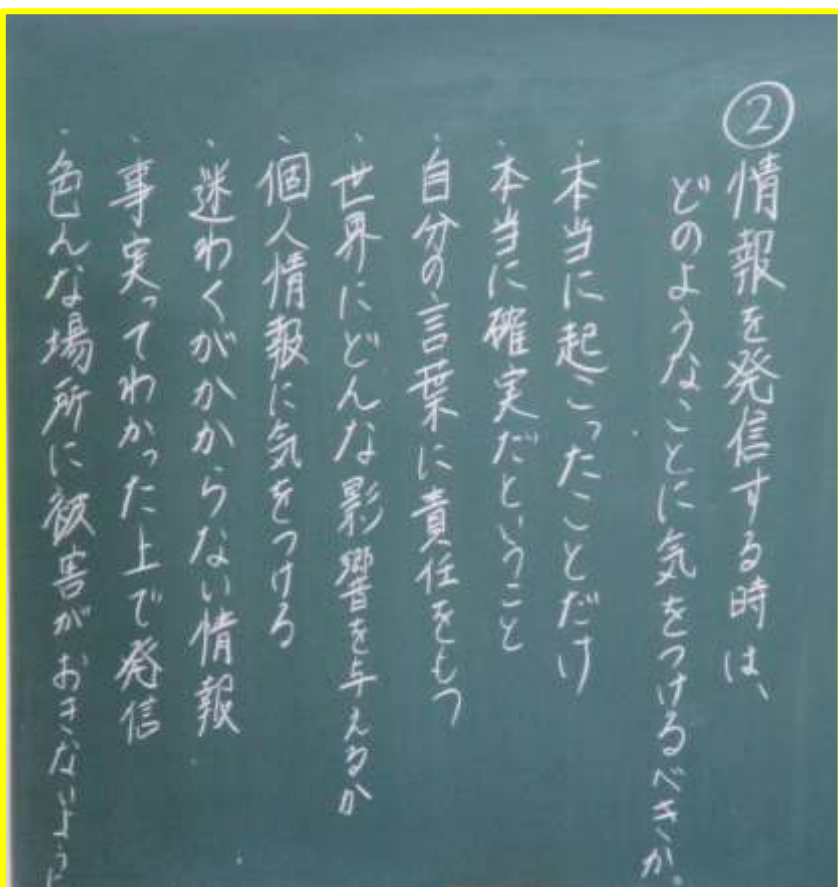
1年生で、「SNS」について考える道徳の授業を行いました。写真は、昨日行った1年2組の様子です。

熊本地震の際に流れた悪ふざけの投稿

「ライオンが放たれた」を題材に、情報

を発信するときに気をつけることについて真剣に考え、最後には普段の言動など、自分自身の生活を振り返ることができていました。多くの生徒が挙手をして発表する姿に、たくましさも感じました。

最近はSNSの負の側面が多く語られますが、使う人次第では、有益で多くの人を助けることもできます。生徒たちも、今後、デジタル機器を適切に活用する力を身に付け、変化の大きな社会の波を乗り越えてほしいと思います。



上の写真は、1年2組の生徒たちの発表をまとめたものです。SNSでのやり取りで、友人間のトラブルに発展することも少なくありません。

- 本当の事・事実なのかをしっかりと判断する。
- 自分の言葉に責任をもつ。
- 周りにどんな影響を与えるか考える。
- 個人情報に気をつける。
- 迷惑が掛からないようにする。

などは、普段の生活でも生かせることです。今回の学びを、普段の生活、友人関係、SNSだけでなく、普段使っている言葉において実践できると素晴らしいと感じました。1年生のみなさんの実践力に期待したいと思います。

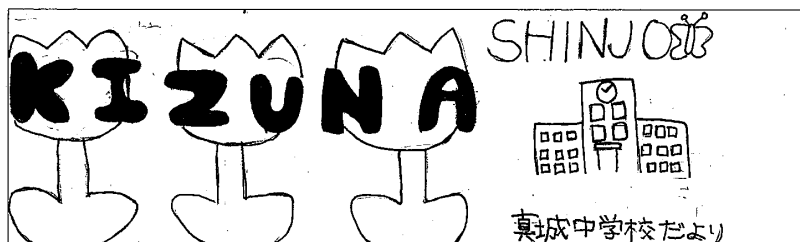


○ 今日の給食（4日）

4日（金）の給食は、もずくスープ、野菜コロッケ、ゴーヤチャンプル、でした。諫早市のゴーヤ（にがうり）もすっかり定着し、この季節の定番メニューとなりました。諫早市の高来で生産



されているそうです。しっかりと下処理をいただいているので、苦味はほとんど感じる事がなく、食感を楽しみながら食べることができました。また、もずくがサッパリしており、この暑い中、しっかりと塩分を摂ることができました。コロッケもボリューム満点で美味しかったです。諫早の食材をふんだんに使ったメニューに感謝です！



今回の「輝継」のタイトルは、1年2組の川上さんの作品です。最近暑い日が続いているので、タイトルのような春の心地よい日が懐かしく感じます。たくさんの花が咲き、蝶が飛び交う春が待ち遠しいです。穏やかな気持ちにさせてくれる、優しい図柄のタイトルをありがとうございました。